

「認定NPO法人アンビシャス」 チーム

- ・ チームテーマ

地域の中で「ペットとの共生」について考えてみよう！

- ・ 活動場所

京都市の各区や宇治市を中心とした府内一帯



チーム紹介

プロジェクトでは、私たち3人が担当して活動しました！

三人とも共通して犬が大好きだったので、毎回たくさんさんのワンちゃんにとっても癒されていきました♪

この写真は、ワンちゃんたちと高齢者施設に訪れたときのものです！



活動内容

アンビシャス×学生チーム

セラピードッグとは

人が犬に触れたり,一緒に遊んだりすることで癒しや安心感,前向きな意欲の向上,教育的な効果が期待できる活動を「ドッグセラピー活動」といいます.

その活動のために訓練した犬をセラピードッグといい,アンビシャスには数十匹ものわんちゃんが在籍しています.



アンビシャスの普段の活動

①ペットと防災

災害が起きたときにペットと一緒にどう避難するのか、勉強会や講演会、イベントを開いて飼い主たちに学ぶ機会を提供

②いのちの授業

幼稚園, 保育園, 小学校, 中高, 大学, PTA団体, 町内会, 学習塾などで「いのちの大切さ」を伝える授業を実施

③ドッグセラピー

療養目的に限らず教育的効果や情状的効果が期待できる「ドッグセラピー」を, 高齢者施設, 障がい者施設, 介護施設, 医療少年院, ホスピス, 大学, 病院などで実施



私たちの感じた魅力



対話する力が身についた

- 小学校や老人ホームなど、普段は行くことのない様々な場所に訪れ、老若男女様々な方々とボランティア活動を通じて会話をしました。それにより、園児や小学校低学年、老人の方々との接し方を学ぶことができ、対話する力が身に付きました。
- このように、私たちはこのボランティア活動を通じて対話する能力が身につくという魅力を感じました。

犬たちの人々を笑顔にする力

老人ホームや小学校を訪問した際、ご老人の方や子どもたちが犬たちの姿を見たり、触れ合うたびに笑顔が溢れており、人を笑顔にする犬の魅力をこのボランティア活動を通して感じました。

また、その笑顔を見た私たち学生も自然と笑顔になり、犬は人々の幸福度を高くする生き物であることをボランティア活動を通して気づきました。

感想

犬が好きなメンバーと共に様々な活動が出来てとても楽しかったです。

老人ホームへの訪問や、子どもたちにどのようにわかりやすく紙芝居が伝わるか試行錯誤をしたり、普段できないようなことをたくさん体験することができて、大きな経験になりました。

最後に、ボランティア活動の機会を設けてくださったり、学生の私たちに様々な指導をしてくださったアンビシャスの方たちに感謝申し上げます。